

嵯峨大念佛狂言

千本ゑんま堂
大念佛狂言

京

民俗芸能 のフェスティバル

Kyoto's Traditional performance art Festival
in Kyoto Station Square

in 京都駅ビル駅前広場
(ホテルグランヴィア京都前)

2024

観覧
無料

国指定重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言

Saga Dainenbutsu Kyogen

国指定重要無形民俗文化財「京都の六斎念仏」
ユネスコ無形文化遺産「風流踊」

嵯峨野六斎念仏

Sagano Rokusainenbutsu

特別披露

京都駅前で

京に伝わる
民俗芸能

京都市登録無形民俗文化財

千本ゑんま堂大念佛狂言

Senbon Enmado Dainenbutsu Kyogen

国指定重要無形民俗文化財「やすらい花」
ユネスコ無形文化遺産「風流踊」

玄武やすらい踊り

Genbu Yasurai Odori

11/3
2024
令和6年

13:00~16:00

開場12:30

雨天決行・荒天中止

日・祝
文化の日

嵯峨野六斎念仏

玄武やすらい踊り



本事業は、令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受けて実施しています。

主催：嵯峨大念佛狂言保存会 後援：公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
協力：嵯峨野六斎念仏保存会／玄武やすらい祭り保存会／千本ゑんま堂大念佛狂言保存会
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課

お問合せは

嵯峨大念佛狂言保存会

〒616-8447 京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町 46
清涼寺（嵯峨釈迦堂）

075-861-0343

www.sagakyogen.info

vtmi19509@leto.eonet.ne.jp



「京の民俗芸能を担う人々」

京の民俗芸能フェスティバル2024

in 京都駅ビル駅前広場(ホテルグランヴィア京都前)

秋も深まる11月3日「文化の日」、京都の玄関口である京都駅前で、京に伝わる民俗芸能(4団体)が一堂に会し、演目などを特別に披露します。

それぞれの場所や季節にしか観ることのできない民俗芸能を一度に見ていただける、またとない機会ですので、ぜひ京都駅ビル駅前広場へ足をお運びください。

国指定重要無形民俗文化財

嵯峨大念佛狂言

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹・清凉寺の境内で執り行われる民俗芸能。すべての役者が面を着け、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、約二十番の演目が残されている。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念仏をひろめた円覚上人導御の創始とされている。嵯峨大念佛狂言には室町時代(享祿2(1529)年)の銘を持つ面が伝わっており、資料から見てもすでに500年近い歴史を有していると考えられる。昭和61(1986)年、国の重要無形民俗文化財に指定された。

継承する嵯峨大念佛狂言保存会は、令和7(2025)年に結成50周年を迎える。



京都市登録無形民俗文化財

千本ゑんま堂大念佛狂言

引接寺(千本えんま堂)境内で演じられる大念佛狂言。壬生狂言や嵯峨狂言と違いセリフのあることが特徴である。

ゑんま堂狂言は、平安時代に定覚上人が布教のために大念佛法会を始めたと事が起こりとされる。室町時代には隆盛を極め、その様子は狩野永徳筆、上杉本洛中洛外図屏風(国宝)に描かれ、最古の狂言図とされている。

昭和39(1964)年に後継者不足で中断、続いて昭和49(1974)年に狂言堂を焼失したが、翌50(1975)年に保存会を結成した。以来、復興に力を注ぎ、令和7(2025)年に保存会結成50周年を迎える。



国指定重要無形民俗文化財「京都の六斎念仏」
ユネスコ無形文化遺産「風流踊」

嵯峨野六斎念仏

六斎念仏とは、平安時代に空也上人が鉦や太鼓を打ち鳴らし念仏を唱えて踊ったことにはじまる。六斎とは、本来、六斎日(毎月8、14、15、23、29、30日)に斎戒謹慎して念仏を唱えることであった。「京都の六斎念仏」は、江戸時代には、能や歌舞伎、また獅子舞などの雑芸を取り入れ、念仏の要素を含みつつ、芸能的な六斎念仏となったことが特徴である。現在、14の保存会がお盆などを中心に活動している。

嵯峨野六斎念仏は多彩な芸ものが特色となっており、260年以上前から右京区嵯峨野の生田村(おいだむら)に受け継がれ、阿弥陀寺檀家の男性を中心に、何世代にもわたって地域に永く受け継がれている。

昭和58(1983)年、国指定重要無形民俗文化財に指定。令和4(2022)年、全国41件の「風流踊」のひとつとしてユネスコ無形文化遺産に登録された。



国指定重要無形民俗文化財「やすらい花」
ユネスコ無形文化遺産「風流踊」

玄武やすらい踊り

やすらい祭は、京の春を代表する地域に根ざした民俗行事として、鞍馬火祭、太秦牛祭とともに京都の三奇祭のひとつとして数えられる。

風流(着飾り仮装した集団が踊り回り、悪霊を鎮める行事)の最も古い形態を伝えるもので、現在は洛北地域の玄武、今宮、川上、上賀茂の4つのやすらい踊り保存会により伝承されている。

玄武やすらい踊りは、毎年4月の第二日曜日に行われている。紫野、柏野、鳳徳の3地域を対象に、太鼓や花傘、シャグマをつけた鬼など華やかな行列が続く。

令和4(2022)年、41件の「風流踊」のひとつとしてユネスコ無形文化遺産に登録された。



プログラム Program

- 13:15頃 千本ゑんま堂大念佛狂言 「いろは」「雷」
- 13:55頃 嵯峨野六斎念仏 「四ツ太鼓」・「神楽獅子」他
- 14:35頃 玄武やすらい踊り
- 15:05頃 嵯峨大念佛狂言 「土蜘蛛」
- 15:50頃 最後にあっと驚く企画をご用意しています!ご期待ください!

司会プロフィール

金ヶ江七海 Nanami Kanegae

京都市出身。小学生4年生から中堂寺六斎会へ所属。京都府立鳥羽高校へ進学後、放送部で活動。NHK杯全国高校放送コンテスト朗読部門京都府大会にて2大会連続で優勝。第39回全国高等学校総合文化祭朗読部門で審査員特別賞を受賞。奈良県立大学へ進学後も京都市内で司会活動を継続。現在は、伝統文化にまつわるシンポジウムやイベントでの司会として活躍するほか、中堂寺六斎念仏の奉納や出張公演において解説や紹介を担当。



会場案内 Access

JR京都駅 烏丸口側

京都駅ビル駅前広場(ホテルグランヴィア京都前)

